

# 清里町福祉に関するアンケート 調査結果報告書

## 清里町在宅介護実態調査結果報告書

### 清里町福祉に関するアンケート調査結果報告書

#### 調査の概要

この調査は、障がい者計画、障がい福祉計画・障がい児福祉計画の基礎資料とするために実施しました。

8月1日現在で、障がいや難病に関する手帳などをお持ちの方や福祉サービスなどの利用者のうち300人を無作為抽出し、郵送で調査しています。



#### 調査結果（抜粋）

##### ■回収結果

- 配布数300通
- 回収数165通
- 回収率55%

##### ①回答者

本人が63%、家族が15.2%、家族以外の介助者が7.3%。年齢については、70歳以上が

56.4%と最も多く、次いで60〜69歳が18.8%となっています。

障がいなどの種類については、肢体不自由が29.1%、内部障がい

が20.6%、精神疾患が15.2%となっています。

##### ②住まいや暮らし

○家族と暮らしている方が7割で今のまま生活したいが37.5%

地域で生活するためには、在宅で良い支援については、在宅で医療的なケアが適切に受けられる体制、障がいに適した住宅の確保、必要な在宅サービス、経済的負担、相談対応や制度周知の充実、地域の住民の理解となります。

##### ③日中活動や就労

○外出に困ることは、公共交通機関が少ないが第1位、次いで道路や階段の段差、困った時にどうすればよいか心配の順。その他には、切符の買い方がわからないなどのほかに、周囲の目が気になるとの回答もありました。

○就労状況は自営業や農業が

50%で1位、次いで非常勤職員・派遣職員が22.7%

障がい者の就労支援として必要なことは、上司や同僚の障がいの理解、次いで職場全体の障がい者理解、次いで通勤手段の確保となります。

##### ④障がい福祉サービスの利用

○サービス利用割合・今後利用したい割合ともに高いのは相談支援

障がい福祉サービスを利用しない理由は「利用する方法がわからない」が25.9%となります。



##### ⑤保健・医療・福祉サービス

○あると良いと思う福祉サービスは、排雪サービスや送迎バス、障がいを持った子どもが遊べる場所、小学生でも通える通園センターのような場所、障がい児放課後デイサービス現在受けている清里町の福祉サービスを年代別で見ると、1〜19歳は「斜里地域子ども通園センター通園費補助」、20歳〜69歳が「難病等交通費助成事業」、70歳以上では「デイサー

ビス」となっています。

定期通院をしている医療機関は、あるが8割で、現在受けている医療ケアは服薬管理が主となっています。また、近くに受診できる場所がないとのご意見がありました。

##### ⑥相談相手・情報の入手先

○困った時の相談相手は「家族や親せき」がほかを引き離して1位

今後充実してほしい事項は、「困った時に相談できる機関や窓口の情報」が第1位、次いで「福祉サービスの内容や利用方法などの情報」、「病院の情報」と相談や情報を求める声が多いです。

##### ⑦災害時の避難

○災害時に困ることについては、投薬や治療が受けられないが第1位、次いで避難場所の設備や生活環境の不安、安全なところまで避難できないの順。火事や災害の時に一人で避難できるが5割であり、災害時に頼れる人は同居の家族が66.1%、次いで近所の友人、知人が21.2%となります。口頭より、何かあった時の体制などを確認しておくことが必要です。

## 特集

⑧療育・教育・保育（この項目は18歳未満のお子さんをお持ちの保護者の方に伺っている項目です）

○子どもの療育や教育に困ることは、療育や教育・保育に関する情報が不十分、特性に

応じた専門医療機関への相談が困難で1位。次いで療育を受けられるサービスが不十分

保育所・幼稚園・学校などで充実して欲しいことは、「子どもの能力や障がいの状態に適した指導」がほかを引き離して1位となっています。

子どもの将来に向けて不安や心配なことについては、「地域の中で生活していくこと」と「保護者が支援できなくなった時のこと」が1位。次いで「経済的なこと」の順でした。

##### ⑨権利擁護

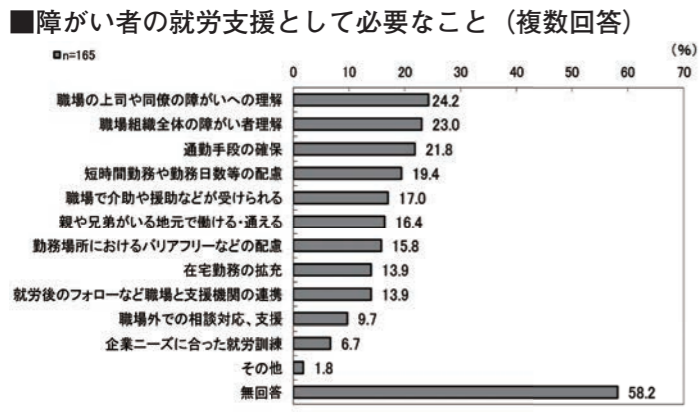
○差別を受けたり嫌な思いをしたことがあるでは、「ない」が46.7%、「少しある」が10.9%、「ある」が9.1%

差別を受けたり嫌な思いをした場所は、外出先が42.4%、保育所、幼稚園、学校、仕事場が24.2%、住んでいる地域が18.2%などでした。成年後見制度の利用状況・利用意向については、「今は必要ないが、将来必要なら利用したい」が27.3%となっています。

##### ⑩自由意見

成年後見制度は、金銭管理のみならず、意思決定などをサポートしていく重要な仕組みですので周知をしていく必要性があります。

相談窓口の強化やライフステージごとに相談場所が変わるわかりづらさの解消など、相談体制の充実を望むご意見を多数いただきました。



### 清里町在宅介護実態調査結果報告書

#### 調査の概要

高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のため、要介護認定を受けている方の日頃の生活状況と介護者の就労状況などをお伺いし、基礎資料とするものです。

6月1日現在で要介護1〜5の要介護認定を受けた方から在宅で過ごしている方を抽出し、郵送で調査しています。

#### 調査結果（抜粋）

##### ■回収結果

- 配布数100通
- 回収数60通
- 回収率60%

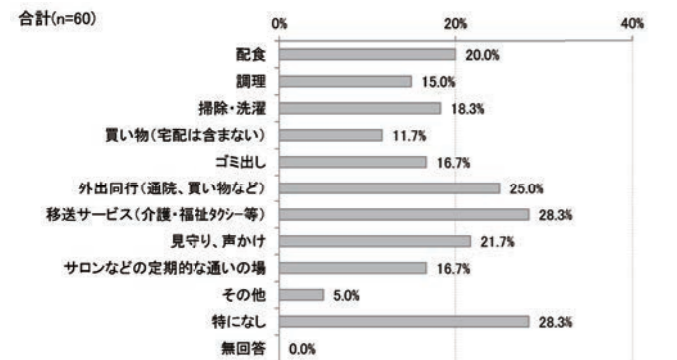
##### ①家族による介護の状況

○主な介護者は子が1位、次いで配偶者が2位

主な介護者の年齢は60代が34.1%、次いで50代が25.0%です。

主な介護者が行っている介護内容は、食事の準備と金銭管理や手続きが81.8%で、次いで家事

### 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス



②介護のための離職があるか

○介護のために仕事を辞めた家族・親族はいないが65.9%

③本人が抱えている疾病

○疾病は認知症が60%で第1位、次いで眼科や耳鼻科

支援、外出の付き添い、服薬管理、認知症状の対応となっています。

訪問診療を利用している方は20%となっており、そのうち認知症で利用している方が50%となります。

##### ④介護保険サービス利用の有無

○介護保険サービスを利用していない方は56.7%、利用している方は38.3%

介護保険サービス未利用の理由は、「現状ではサービスを利用するほどではない」が主な理由となります。

##### ⑤今後の在宅生活への不安

○認知症状の対応が50%で1位。夜間の排せつが27.3%で2位

その他、入浴・洗身介護などが主なものとなっています。

### おわりに

これから調査結果と事業評価をもとに、保健福祉計画を審議していきます。

なお、本記事は調査結果の一部を抜粋して掲載していますので、詳細はホームページをご覧ください。

##### ■詳細

保健福祉課福祉介護グループ  
☎25-13847